

# 「昆虫のスケッチ用標本」を活用した授業例（小学校）

第3学年〇組 理科学習指導案

指導者 〇〇 〇〇

1 単元名 「こん虫をそだてよう」

2 単元について  
－省略－

3 単元の目標  
－省略－

4 学習計画  
－省略－

5 本時の学習

(1) 目標

昆虫の体のつくりは、形や大きさは違っても、どの昆虫にも頭・胸・腹があり、胸には6本のあしが付いていることを図や言葉を用いてまとめることができる。

(2) 準備・資料

昆虫のスケッチ用標本、昆虫の写真、実物投影機、テレビ、ワークシート

(3) 展開

時間(分)	学習内容・活動	支援・評価
3	1 前時までの学習を振り返る。 ・昆虫は頭・胸・腹の3つに分かれている。 ・昆虫は胸に6本の脚がある。 ・昆虫は完全変態するものと不完全変態するものがある。	・モンシロチョウやトンボ、バッタで見つけた昆虫の定義を確認し、他の昆虫でも同じことが言えるのか確かめたいという意欲を高める。
2	2 本時の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">かんさつしたモンシロチョウやトンボ、バッタ以外のこん虫の体も頭、むね、はらと、あし6本からできているのだろうか。</div>	・今まで観察した昆虫の写真を提示し、昆虫のイメージを具体的なものにする。その際、頭、胸、腹、脚に着目させる。
5	3 予想を立てる。 ・モンシロチョウと同じで頭、胸、腹に分けることができる。 ・脚が多かったり少なかったりする昆虫がいるかもしれない。	
15	4 昆虫のスケッチ用標本を観察し、体のつくりを調べる。 ・脚の形や長さは昆虫によって異なる。 ・大きさや形は違ってもどの昆虫も頭・胸・腹に分かれている。 ・脚はどれも6本ある。 ・脚は胸に付いている。 ・胸には羽根が付いているものもある。	・昆虫標本の扱い方や見方を説明する。 ・個人で観察させ、自分の考えをもたせる。 ・脚の部分が見分けにくい標本は、「脚が胸に付いている」ことをもとに見分けさせる。 ・自分でワークシートに頭・胸・腹を簡単に図に描き、各部分を色分けしたり印を付けたりして区別するよう助言する。 ・さらに脚を描き加えるよう助言する。
5	5 調べたことをグループで交流する。 ・観察した昆虫についてグループ内で発表する。	・グループのメンバーの発表から、昆虫の体のつくりについて考察できるようにする。
7	6 調べた昆虫の体のつくりの共通点、差異点について分かったことをまとめる。 ・観察した昆虫を映し出し、それをもとに観察した結果を発表する。	・数名の児童に調べて分かったことを発表させる。その際、実物投影機器で標本を映し出しながら説明させることで可視化を図る。
5	7 昆虫の体のつくりについてまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">形や大きさはちがうが、どの昆虫も頭・むね・はらの3つの部分からできている。むねには6本のあしが付いている。</div>	・昆虫の体のつくりは、頭・胸・腹に分けることができ、胸に脚が6本付いていることをまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">⑧ 昆虫は、頭・胸・腹の3つ分けることができ、足も胸に6本付いていること、形や大きさは異なることなどを自分の言葉でまとめている。（ワークシート、発表）</div>
3	8 本時の振り返りをする。	・様々な昆虫の脚を提示して用途によって変化していることを紹介し、関心を高めさせたい。